

“卒園”

牧師 columnNo.181

名前を呼ばれ「はい。あーとー。」と力強く答え卒園証書を受け取る孫の姿に、こらえていた涙が溢れ出しました。ダウン症のため入園した時は、歩くことも難しかった子がマラソン大会では完走。卒園式では全力で他の園児と共に英語の歌を彼女なりに歌い振り付けを行うまでに成長していました。両親に愛され、先生たちの忍耐強い指導、多くの人々の祈り、何よりも神さまがここまで育ててくださいました。人は、誰も一人では生きる事ができません。多くの人々の助けがあつてこそ成長します。色んなことができる様になると口答えし、誰の助けも要らないと生意気になります。しかし、年を取ると誰でも再び人の助けが必要となります。何もできなくなった時に、昔は何でもできた過去を振り返るよりも、感謝しながら喜んで助けを受ける姿を持つ者になりたいものです。人間にとっての卒園は、天国です。

天国で名前を呼ばれた時、「はい。ありがとうございます。」と心から答えるその時まで、日々成長させていただきましょう。

「まことに、まことに、あなたに告げます。あなたは若かった時には、自分で帯を締めて、自分の歩きたい所を歩きました。しかし年をとると、あなたは自分の手を伸ばし、ほかの人があなたに帯をさせて、あなたの行きたくない所に連れて行きます。」 聖書

